

宝塚市議会報告

本気の力！市政を変える。VOL. 21

—私たちのまちは、私たちでつくる。—

〒665-0033 宝塚市伊子志 2丁目 17-8-4F TEL & FAX: 0797-72-2130

Topic

- ご挨拶
- 一般質問(6月議会)
- NTN(株)宝塚製作所跡地利活用
- 市政報告会報告
- メルマガのご案内       いとう順一プロフィール
- いとう順一とつくる会通信

この報告書の発行費用は、後援会等から捻出し政務活動費は使用していません。



宝塚市議会議員 **いとう 順一** (会派：新風改革の会)

ご挨拶

新年度を迎え、初めての議会となる平成 28 年第 2 回市議会（6 月定例会）が、5 月 24 日から 6 月 23 日の日程で開催されました。

昨年度まで「新風改革・維新の会」として 6 名の最大会派を結成しておりましたが、おおさか維新の会の 3 名の議員が、会派を自分たちで組みたいということでしたので、了解し、本年度より、浅谷議員・大川議員と私の 3 名で「新風改革の会」という会派名で活動させて頂いております。

常任委員会は、文教生活常任委員会に所属し、県議会議員時代を含めて、初めての分野に所属することになりました。具体的には、教育や保育、市民病院や介護・国保事業等が対象となりますが、しっかり取り組んで参ります。

さて、6 月議会では、初日に私たちの会派が主導し、自民・維新と 3 会派共同で、『平成 28 年度宝塚市一般会計予算に対する附帯決議にかかる「性的マイノリティに寄り添うまちづくりの取組」についてより丁寧な対応を早急に求める決議（案）』を提出し、採決が行われました。

残念ながら、結果は、10-15 で決議案は否決されました。

6/1 からパートナーシップ証明を発行するといった要綱をスタートさせると、5/13 今回もいきなり市長から記者発表がなされましたが、私たちは、もっと議論を深めるべきであると、日程的にも最後の手段として、6 月議会初日に決議案を提出した次第です。

3 月議会の代表質問においても、市民の声をもっと聞くべきと申し上げましたが、結局黙殺されたままです。

当局は、3 月議会での付帯決議（性的マイノリティに寄り添うまちづくりの取組について、本事業は、性の多様性を理解し、誰もが「ありのまま」「安心して自分らしく」過ごせる、そんな、誰もが生きやすい社会をめざし、性的マイノリティの方々への理解と支援を行うとのことである。本事業の趣旨は理解するが、性的マイノリティに対する市民の理解は様々である。課題解決には、市民などの意見を十分に考慮し議論を深めることが重要である。そこで、本事業の執行に当たっては事前に議会への報告を行い、議会との議論を経て決定するよう求めるものである。）を受け、当局は、議会に対し十分な説明をし、大方の議員の理解が得られたとマスコミ発表していますが、私たちはもっと議論を重ねるべきだったと考えています。

当局の説明では、6/1 の要綱開始に向けて、提出を待っておられる方々がいらっしゃるとのことでしたが、6 月議会最終日の 6/23 現在では、提出者はいないとのことでした。

今回の一連の進め方はことごとく強引でありました。かねてより、マスコミ発表先行の市長の進め方に対して議会制民主主義への挑戦と批判して参りましたが、このようなやり方は、当事者の皆さんの為にはならず、また、市民への説明責任を十分に果たしていかないのではないのでしょうか。

ブログ随時更新中！ <http://jito.jp> (携帯でも閲覧できます)

いとう順一の活動や考え方を、週 3 日～4 日に一度、ブログにてお伝えしています。是非アクセスして下さい。